

平和朝会(児童朝会, 校長講話の2つ)!



児童会による平和朝会

【平和朝会(児童朝会)】(一部抜粋)

今から79年前に、ここ沖縄でこのような戦争がありました。絵本にもあったように空からだけではなく海からも爆弾が飛んできました。(ボン)爆弾の音を聞いて、びっくりしたと思いますが、戦争中の爆弾の音を体験してもらいたくて皆さんに音を流しました。 昼一昼に 100 発の爆弾が落ちたぐらい激しい戦いでした。昼一昼とはみなさんが今見ている電子黒板一台の大きさです。雨のように降ってくる爆弾の中を、人々は逃げていました。沖縄戦では約20万人の人がなくなりました。そのうち、半分以上の約12万人が沖縄出身の人です。関係のない住民がたくさんなくなった恐ろしい戦争です。

大好きな家族、友達と離れ離れになることを、みなさんは想像できますか？

どうして戦争が起こったのでしょうか？私達は、ものの取り合い、差別、お互いの意見が取り入れられないことなど、小さなことが原因になったのではないかと考えました。それがどんどん大きくなり、戦争につながったのではないのでしょうか？

みなさんの周りには、小さな争いはありませんか？けんか、いじめ、悪口、差別…このような小さな争いの積み重ねが戦争につながると思います。

はじめにも聞きました。皆さんの周りは平和ですか？平和ってどんなことでしょうか？平和とは、あそびがいない、せいがかつがおだやか、やさしくする、好きなことができる、楽しく勉強ができる、思いっきり遊べる、家族や友達がいつもそばにいる、自分の意見が言える。こんなことが平和だと言えるのではないのでしょうか？

小さな平和をつくることで大きな平和につながるのではないのでしょうか？小さな平和をつくるために、自分ができることを探してみませんか？クラスや友達、家族と話し合ってみてください。もう二度と恐ろしい、悲しい戦争をくりかえさないために、みんなで平和をつくっていきましょう。これで、平和朝会を終わります。

【平和朝会(校長講話)】(一部抜粋:全文は HP に掲載してあります)

恒久平和とは、どういうことでしょうか。それは、「常に変わらずに平和であること。永久に平和で争いごとがない状態のこと」です。

でも、今、ウクライナで戦争が起こっています。79年前、沖縄や日本、世界中で大きな戦争(第二次世界大戦)が終わり、「二度と戦争はしたくない」と世界中の人々が決意したにもかかわらず、世界から戦争がなくなりません。大変、残念で悲しいことです。

さて、みなさんはこの戦争と平和について、みなさん自身とどういう関係があると思いますか？

校長先生は、2つの点で、関係があると思います。

①これから大人になるみなさんが、平和な世の中をつくっていく責任があるということ

②今、子どものうちに学び、自分で考え行動できる力や人を大切にする力を身につける必要があること
自分と自分の身の回りの「小さな平和」をつくっていくことが、「大きな平和」につながるのです。

自分と自分の身の回りの「小さな平和」をつくるためには、まずは「自分でできることは自分でやる」「自分が困ったら、困っている人がいたら助け合う」ことからではないのでしょうか。「自分で考え行動できる力」「人を大切にする力」をつけて欲しいと思います。

だから、学校で「学ぶこと」「ルールを守って安心・安全に生活すること」が大切なのです。

お友達に優しくできていますか？嫌なことがあったらすぐに叩いたり、文句を言ったりしていませんか？人を叩いたりする暴力だけでなく、言葉の暴力もあるのです。そういった暴力をなくすことが「小さな平和」への第一歩です。

自分の身の回りから、「小さな平和」をつくるのが「大きな平和」につながるのです。

今日から、佐敷っ子のみんなで「小さな平和」をつくっていきましょう。



平和の礎